

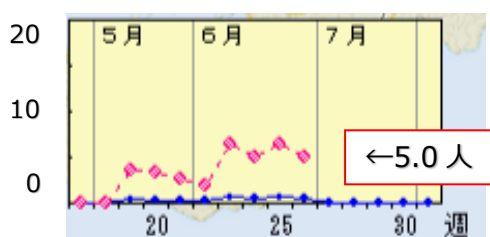


## 新型コロナウイルス感染症対策を継続しましょう

県の感染症の発生動向調査によると、若狭管内の第 27 週（令和 5 年 7 月 3 日～7 月 9 日）の患者報告数は 1 定点医療機関あたり、5 人と横ばいが続いています（図 1 参照）。

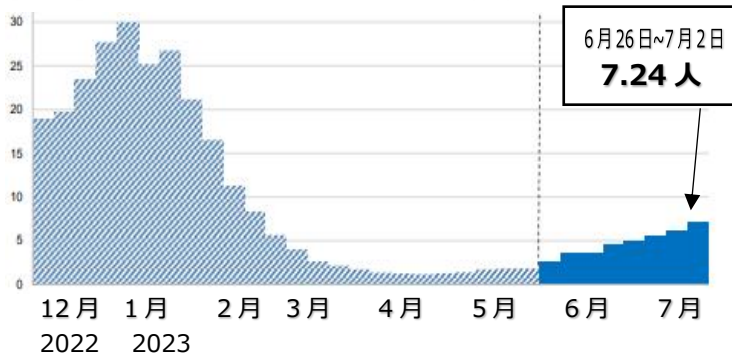
全国的に報告数は増加傾向となっており、感染対策を引き続きお願いします。夏休みやお盆に帰省等で高齢の方と会う場合や大多数で集まる場合は、感染予防を心がけ、体調を整えるようにしましょう（図 2 参照）。

【図 1】若狭管内 新型コロナウイルス感染症  
定点あたり報告数（人）



注意報レベル：定点あたり報告数 10 人  
警報レベル：定点あたり報告数 30 人

【図 2】全国の定点あたり報告数推移（人）※1



※1 5 月 7 日以前は過去の報告をもとに集計した参考値

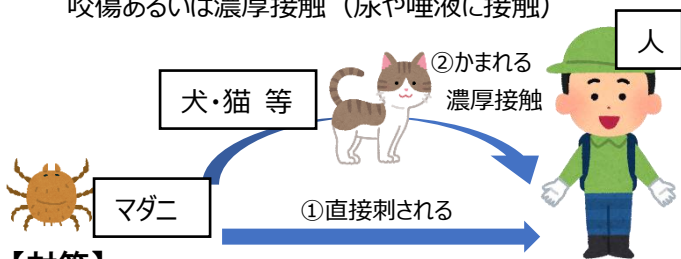
5 月 8 日以降は国立感染症研究所の報告値と厚生労働省の速報値

## ダニが媒介する感染症に注意しましょう！

ダニ媒介感染症・・・四類感染症である日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群（SFTS）等

### 【感染経路】

- ①病原体を保有するダニに咬まれる
- ②上記感染症に感染した動物（犬、ネコ等）からの咬傷あるいは濃厚接触（尿や唾液に接触）



### 【対策】

春～秋は、媒介ダニの活動が活発化します。ダニの刺咬を防ぐために、野外活動時は下記に注意しましょう。

- (1) 長袖、長ズボンを着用し、サンダルのような肌を露出するようなものは履かない
- (2) 作業時にはダニ忌避剤を使用する
- (3) 作業後早めに入浴し、ダニの付着を確認する

詳細は…

マダニ対策、今できること  
（国立感染症研究所）



## 食中毒多発シーズンです！

例年、気温が高くなると、細菌による食中毒患者が増加します。また、様々な地域で水害等が発生しており、災害時の食中毒予防対策も意識しましょう。

### ◆災害時の食中毒予防のために◆

- 調理や配付、食事の前には、よく手を洗いましょう。水が十分に確保できない場合には、ウェットティッシュ等を活用しましょう。
- 調理を行う際は、食材を火や熱湯で十分に加熱しましょう。野菜などを生で食べる場合には、よく洗いましょう。
- 下痢、発熱、手指に傷がある方は、食品の調理や配付を行わないようにしましょう。
- 調理を行う台所や食器などを、可能な限り清潔に保つようにしましょう。
- 避難所等では、出された食事は保管せず、できるだけ早く食べるようにしましょう。また、時間が経ち過ぎたら、思い切って捨てましょう。



【発信者】 若狭健康福祉センター 地域保健課

TEL：0770-52-1301 FAX:0770-52-1058 メール：w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp

※ご不明な点やご意見は上記へ連絡ください。

